

内閣官房及び内閣法制局・内閣府本府入札等監視委員会

令和7年度第2回（第55回）合同会議議事概要

開催日及び場所	令和7年10月24日（金）中央合同庁舎第8号館 623会議室		
委員	委員長	今井 猛嘉	（法政大学大学院法務研究科教授）
	委員	大森 明	（横浜国立大学大学院国際社会科学研究院国際社会科学部門教授）
	委員	市毛 由美子	（弁護士）
	委員	金井 睦美	（公認会計士）
	委員	寺田 麻佑※	（一橋大学大学院ソーシャル・データサイエンス研究科教授）
	※ 当番委員		
議 事	令和7年度第1四半期の契約に係る審議		

○令和7年度第1四半期の契約に係る審議		
審議対象期間	令和7年4月1日～令和7年6月30日	
対象案件の説明	<p>○対象期間における契約件数（内閣官房168件・内閣法制局4件・内閣府本府555件）について事務局から説明</p> <p>○審議案件抽出等の考え方について当番委員から説明</p> <p>抽出にあたっての関心事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・落札率が高く、かつ1者応札となった案件について、その理由を確認する。</li> <li>・落札率が低くなった案件について、その理由及び履行状況を確認する。</li> <li>・専門性が必要と思われる事案に関し、採用した調達方式が妥当であるか確認する。</li> </ul> <p>さらに以下の観点から各案件を抽出した。</p>	
審議抽出案件	4 件	
【一般競争入札】 総合評価落札方式	（内閣官房）1件 （関心事項） ・落札率が高く、1者応札になった理由	<p>契約件名：令和7年度首相官邸ホームページシステムの構築及び運用業務等</p> <p>契約相手：アクセンチュア（株）</p> <p>契約金額：2,178,000,000円</p> <p>契約日：令和7年4月28日</p> <p>担当部局：内閣広報室</p>
【一般競争入札】 最低価格落札方式	（内閣府）1件 （関心事項） ・落札率が低くなっている理由及び履行状況 ・調達方式の妥当性	<p>契約件名：令和7年度火山防災に関する専門人材の育成に係る研修運営業務</p> <p>契約相手：（株）オーエムシー</p> <p>契約金額：1,834,580円</p> <p>契約日：令和7年5月13日</p> <p>担当部局：政策統括官（防災担当）</p>
【一般競争入札】 総合評価落札方式	（内閣府）1件 （関心事項） ・落札率が高く、1者応札になった理由 ・契約をその1、その2と分けている合理的な理由	<p>契約件名：令和7年度小型SAR衛星コンステレーションの利用拡大に向けた実証（その2－2）</p> <p>契約相手：（株）Synspective</p> <p>契約金額：424,732,000円</p> <p>契約日：令和7年4月1日</p> <p>担当部局：宇宙開発戦略推進事務局</p> <hr/> <p>契約件名：令和7年度小型SAR衛星コンステレーションの利用拡大に向けた実証（その1－2）</p> <p>契約相手：（株）QPS研究所</p> <p>契約金額：339,479,879円</p> <p>契約日：令和7年4月1日</p> <p>担当部局：宇宙開発戦略推進事務局</p>
【一般競争入札】 最低価格落札方式	（内閣府）1件 （関心事項） ・落札率が高く、1者応札になった理由 ・調達方式の妥当性	<p>契約件名：令和7年度緊急事態応急対策等拠点施設等における運営支援業務</p> <p>契約相手：東芝ITサービス（株）</p> <p>契約金額：143,484,000円</p> <p>契約日：令和7年4月1日</p> <p>担当部局：政策統括官（原子力防災担当）</p>
委員からの意見・質問 それに対する回答等	別紙のとおり	
委員会による意見の 具申又は勧告の内容	なし	

○その他
－

別紙

意 見 ・ 質 問	回 答
<b>1 令和7年度首相官邸ホームページシステムの構築及び運用業務等</b>	
1者応札となった理由について確認したい。	複数社へ説明は行ったものの、大量のページ数の移行作業に対するリソース不足や、他に大型案件が多々ある中でリソース配分の優先順位といった様々な要因が考えられ、結果的に今回は応札しないという経営判断があったものと思われる。
<b>2 令和7年度火山防災に関する専門人材の育成に係る研修運営業務</b>	
落札率が極端に低くなっており、必要な人件費が契約額に適正に反映されていない恐れがあるのではないかと。また、業務の進捗状況は適宜把握されているのか確認したい。	低入札調査において、適材適所のスタッフ配置による人件費圧縮及び外部発注業務の最小化の実施と聞き取っており、不当な人件費削減とは読み取れないものと認識している。また、複数回の打合せにおいて、研修開始後も滞りなく業務が履行されていることを確認している。
参考見積りに差が見られ、業務内容の理解に差がある可能性があるところ、選定業者含め見積りの整合性について確認したい。	仕様書に明確に記載していることでも、事業者が誤った想定により算定した可能性は否定できないところ。結果としてばらつきがあったため、次年度以降の業務発注の手續に関しては、やってほしい事だけでなくやらなくていいことも含めた業務内容のより一層の明確化など、改善すべきところは改善していきたい。
<b>3</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度小型SAR衛星コンステレーションの利用拡大に向けた実証（その2－2）</li> <li>・令和7年度小型SAR衛星コンステレーションの利用拡大に向けた実証（その1－2）</li> </ul>	
各案件において参考見積りを2者から取得しているが、1者応札である理由について確認したい。また、仕様を分けて1件にまとめることはできないのか確認したい。	それぞれが1者応札となった理由については把握していない。どちらの業務も、特定の1者しかできないというものではないが、事業者がそれぞれの能力に応じて判断した結果と考える。また、政策目標が異なるため仕様をまとめると応札が難しくなると考えている。
本件のように特殊かつ高度な案件で1者応札が続く状況であるならば、随意契約として価格交渉を行っていくことも可能ではないか。	複数者から参考見積りを取得できているため、応札可能という状況であり直ちに随意契約とするのは難しいと考えるが、委員会からのご指摘も踏まえ、次の調達においては随意契約の方向も含め検討を進めたい。
<b>4 令和7年度緊急事態応急対策等拠点施設等における運営支援業務</b>	
担当部局が原子力総合防災訓練の対応を実施しており委員会出席が困難となったため、審議は次回委員会へ持ち越しとなった。	
○その他	
-	